

日印産連
GP認定制度

シール業界認定第1号は

山王テクノアーツ 八王子工場

(社)日本印刷産業連合会(日印産連)が3月27日に開催した「グリーンプリンティング工場認定委員会」で、東京正札協組所属の山王テクノアーツ(株)八王子工場(田中祐社長)がグリーンプリンティング工場として認定された。シール業界では認定第1号で、同社はシールおよびスクリーンの両印刷部門での取得となる。

グリーンプリンティング(GP)制度は、日印産連が創設した環境に配慮した印刷の総合認定制度で、同連合会が自主的に定めたグリーン基準(シール印刷は03年3月制定、07年4月改定)を達成すると「GP工場」として認定する仕組み。認定工場がグリーン基準に適合した資材を使って印刷した製品にはGPマークをつけることができるほか、同工場は日印産連のWEBページなどで公表される。オフセット印刷では平成18年10月に第1回の認定が始まり、すでに90工場以上が認定されている。

シール印刷(他にグラビア印刷、スクリーン印刷も)については、今年1月15日から申請受付が開始され、受付開始後、第1回目となる工場認定委員会で、山王テクノアーツ(株)八王子工場が認定された。なお、同認定委員会開催までにシール業界から申請したのは同社だけだった。



田中祐社長のコメント

このたびはGP認定取得に関し、特に日本印刷産業連合会の殖栗様、坂口様、審査員の寺田様には一方ならぬご協力を賜り、ありがとうございました。

当社は、オフセット、グラビア、シール、スクリーンの4印刷部門のうち、シール印刷部門とスクリーン印刷部門に申請し、認定を受けることができました。

ISO14001をすでに取得していましたが、あえてGPに認証取得にも踏み切った理由は以下の2点です。

(1)GPは印刷業界に特化していて、考慮すべき環境影響もより具体的であること

(2)同時に、印刷業界に精通した第三者機関が審査を行うことにより、評価内容も実践的

であること

また特に、ISOはマネジメントシステムの仕組み作りを重視しているのに対し、GPはパフォーマンス(活動の結果)を重視しています。

そのため、審査員のコメント内容に多少戸惑うところもありましたが、無事に審査を通過してホッとしています。

今後は環境負荷の低減・維持管理と同時に、再度当社の取り組みを、あくまで経済合理性のある形で、話し合い、見直していきたいと考えています。

